

## 平成 19 年度鳥取市政懇話会

### 第 1 回「高速道路を活かした地域経済の活性化」部会 議事要旨

日 時：平成 19 年 5 月 29 日（火）午前 10 時 30 分～11 時 40 分

会 場：鳥取市役所本庁舎 6 階第 1 会議室

出席委員：安養寺幸男委員、川上一郎委員、神部みゆき委員、清水昭允委員、谷口博文委員、中西重康委員、福島猛夫委員

（欠席：海野龍一委員）

鳥 取 市：深澤義彦副市長、大西康隆経済観光部長、大塚昌之農林水産部長（事務局：企画調整課 山川）

#### 1. 部会長、副部会長の選任について

互選により、清水昭允委員が部会長に選出。副部会長は、川上 一郎委員が就任した。

#### 2. 部会のテーマについて

清水部会長 それぞれ専門分野、関心を持つこと、思いをお話いただきたい。商工業、農林水産業とわけて大まかに議論してもいいが。

委員 特定のテーマを一回で完結させるのは、レベル合わせもあるし難しいのではないかな。まずは荒っぽくやりながら、徐々に詰めて、往復しながらやるのもやむを得ない。汎用型産業だけでなく、文化型産業という視点で考えていくことも必要なのではないかな。

委員 中心市街地活性化についてやりたいが、マニフェストで想定されているテーマに従うべきではないかな。

清水部会長 高速道路ができれば、流入人口もあり、商業界の受け皿づくりも必要だろう。

委員 駅前のケヤキを削ってでも、駐車場とかレンタサイクルを設置して、鳥取は楽しいという印象を持たせる施策をとというのが前回から考えていたこと。近いうちに高速道路の現地視察に出かければいい意見が出るのではないかな。

委員 受け皿の方が問題である。鳥取の者はおとなしく、消極的。関西との差は歴然としている。全国のコーラス大会が鳥取であっても、昼食の段取りでさえ業者が敬遠する状況。経済界がどう魅力的になり、どうアピールすればいいかを議論していきたい。

委員 部会を分野別に少人数に分けることよりも、全体として市政のどこに力を入れるべきかを議論する方がいいのではないかな。農業では米消費をベースにしなければならない。鳥取市でも米消費日本一をめざすなどの取組みが必要であり、そのレベルの話なら 5 回の部会全てで議論する価値はある。一回限りのテーマでは結局行き詰る。次回の部会もそれを探ることをすればいいのではないかな。

委員 経済活性化の根幹は企業誘致。市の取り組みに知識はないが、雇用の場が当然できるし、新たな経営ノウハウも吸収できる。成長産業など、どの部分の誘致を進めるかなどが議論できればいい。高速道路は商圈拡大の機会である。鳥取は農林水産物は宝庫であり、余暇や交流も経済活性化に結びつく。そのような面からも、課題や、施策を議論したい。少人数の部会なので部会を分けなくてもいいだろう。部会の開催回数

もこだわらなくていい。

委員 高速道路ができることで流入客は、砂丘をめざす方と週末にジャスコ増床に伴う買い物客との2通りに分かれるのではないか。GWやお盆、また年間どのぐらいの人間が入ってきて、どのくらいさばけるのかシュミレーションできていないのではないか。受け皿として、それにどう対応し、砂丘や商店街がどういう売り方をするかのイメージしていかなければならない。観光部会とは合同で開催してもいい。販路拡大とアンテナショップには興味がある。

大西経済観光部長 受け皿づくりは我々の課題である。コンベンションでイベントを引っ張ってもあとは知らん顔というのが現状。企業誘致は、シャープの亀山を見るように、並みの手段ではこない。覚悟を持って企業誘致している現状。土地の造成は新たにしていきたい。

清水部会長 現状を共通認識しなければいけない。

委員 現状についてのバックデータを提供して欲しい。

委員 千代水の改良地区は遊休地があると聞いている。その現状も資料があればいただきたい。

大西経済観光部長 企業誘致は土地価格の課題があるし、場所がどこでもいいというわけでない。

大塚農林水産部長 米の消費拡大も成果が出ていない。決め手がない状況。食育で地道にやっていくしかないという現状ではないか。米の消費量及び国・県の生産調整のデータを提供したい。アンテナショップも広域で検討している。県の動きも見極めて動かなければならない。

深澤副市長 部会長から地域の知恵比べという話をいただいたが、2009が現実身を帯びてきた。因幡の祭典は打って出る仕掛けであり、受け皿確保もからめて考えなければいかなければならない。市民の皆さんと行政と力を併せ、知恵を絞って地域経済の活性化を実現したい。中心市街地は鳥取市の経済、文化の中心、まちの顔であるので、中心市街地のご議論もいただきたい。

委員 鳥取市の競争力の現状認識を深めてから、施策の展開をしないと薄い議論になるのではないか。どこに重点配分するのかロングレンジのグラウンドデザインに行政は取り組んでいただきたい。

事務局 市の現状、課題を網羅したデータを可能な限りそろえて、事前に委員に送付する。今回は8月が7月か部会長と調整のうえ案内する。資料を見ていただく中で、次回のテーマを絞っていただくということにさせていただきたい。